

2021年11月22日

調査室

今週の株式相場見通し

* 日経平均 29,040~30,000円 TOPIX 2,010~2,060

* 期待材料 緩和的金融政策の継続 ハイテク株高 岸田政権の経済対策 資源価格一服

* 不安材料 インフレの加速 日本企業の業績伸び悩み 商品不足による米年末商戦の不振

日経平均株価は3万円の台を前に押し戻される展開が続いているが、米国のS&P500は最高値近辺で底堅い推移になっている。米国の7-9月期決算発表ではS&P500構成企業のうち多くの企業が市場予想を上回り、ブルームバーグ集計によるS&P500の21年予想EPSは、10月1日時点の203.3から11月16日時点で208.6へ、22年予想EPSは221.8から224.2へ上方修正されている。業績好調に加えて、インフレ懸念の高まりに対してFRBの金融政策が後手に回るとの見立てから、米国の10年物インフレ連動債が示す実質金利は、11月9日に-1.21%まで低下し過去最低を更新。18日時点でも-1.15%と低水準で推移しており、資産の目減りを防ぐため株や金、不動産などへ資金が流入している。来年の中間選挙に向けて支持率低下を避けたいバイデン政権としても、FRBが早急に金融引き締めを行い景気回復や株価上昇を腰折れさせるわけにはいかず、次期FRB議長にはパウエル議長の再任かブレイナードFRB理事か、ハト派の起用が見込まれている。また、欧州では新型コロナの感染が再拡大しており、ECBも金融引き締め政策を転換するのは難しい状況にあり、緩和的な金融政策の継続を背景に、株価の上昇基調が当面続くものと思われる。日経平均株価は、ブルームバーグ集計による今期予想EPSがほぼ横ばいとどまっているうえ、来期予想については小幅に下方修正されており、米国株のように上値を追う展開には至っていない。ただ、半導体やDX関連など好業績銘柄中心に年初来高値を更新する銘柄が相次いでおり、今週も個別株物色中心の相場展開が続くことが見込まれる。また、日本でもインフレの進行には注意したい。金融政策の違いや岸田政権による55.7兆円規模とされる経済対策の策定などにより、ドル円は17年1月以来となる115円台に一時接近した。円安や資源高、そして物流費の上昇などによりガソリンや灯油、電気代、食品など様々な物の価格が上昇してきている。日本でもインフレによる資産の目減りを避けるため、株式などの保有比率を高める必要があり、日立製作所やオムロンなどのグローバル企業や金ETF、海外株式ETFなどへの投資を進めるのも一考と思われる。(11月18日現在、松本 直志)

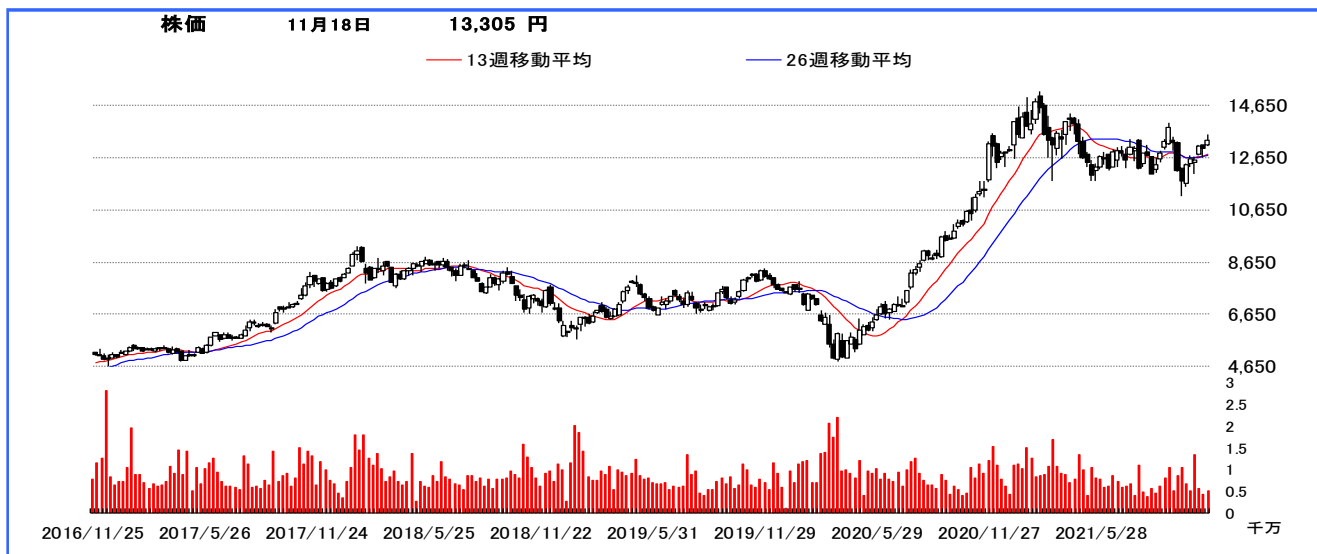
今週の予定

	国内	海外
11/22(月)	十倉経団連会長会見	[米]10月中古住宅販売件数(24:00)
23(火)	勤労感謝の日	[欧]11月製造業PMI速報値(18:00)
24(水)	決算：プラネット(2391) プラントメンテナンスショー(~26日) 自動化・省人化ロボット展(~26日) 国際ドローン展(~26日)	[独]11月IFO企業景況感指数(18:00) [米]7-9月期GDP改定値(22:30) [米]10月PCEコアデフレーター(24:00) [米]10月新築住宅販売件数(24:00)
25(木)	新生銀行の臨時株主総会	[米]休場(感謝祭)
26(金)	日本認知症学会(~28日) 日本肺癌学会(~28日)	[モンゴル]独立記念日 [米]ブラックフライデー
27(土)	日本在宅医療連合学会(~28日)	ノーベル賞制定記念日
28(日)	競馬 ジャパンカップ	[ホンジュラス]総選挙

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 **日電産 (6594)** 東証1部



20年3月期 (百万円)		21年3月期 (百万円)		22年3月期(予) (百万円)		株価(11/18)	13,305 円
	前年比		前年比		前年比	業種	電気機器
売上収益	1,534,800 4.0%	1,618,064 5.4%	1,800,000 11.2%	時価総額	79,336 億円	PER(予想)	52.50 倍
営業利益	108,558 -16.0%	160,011 47.4%	190,000 18.8%	PBR(実績)	6.76 倍	ROE(実績)	11.94 %
税引前利益	105,160 -19.0%	152,978 45.5%	185,000 21.0%	配当利回り(予想)	0.45 %	担当	多功 毅
当期純利益	58,459 -46.8%	121,977 108.7%	148,000 21.4%				
EPS(円)	99.37	208.25	252.68				
配当金(円)	115	60	60				

出所：業績に関する数値は決算短信より

精密小型モータで創業し、HDD用のスピンドルモータを軸に成長を遂げてきた。システム化・モジュール化の進展、製品ラインナップの拡充、成長市場で競合他社に先行する圧倒的な生産能力の獲得を目的に積極的なM&A戦略を展開することで、車載用製品、家電・商業・産業用のモータ、コンプレッサ、ギア、プレス機、産業用ロボット、変減速機などへと事業領域を広げ、現在では「世界No.1の総合モータメーカー」となっている。

22年3月期2Q累計(4-9月)決算は、前年同期比21.1%増収、30.4%営業増益となった。生産拠点のあるベトナムでのロックダウンの影響、急遽行った代替地生産や航空便の活用といったコスト上昇要因に加えて、自動車やHDDの顧客などで減産の影響が広がるなか、自動車の電動化関連製品、ロボット関連製品の拡販でカバーし公表計画を上回る着地となった。通期業績計画については、ほぼ上期の上振れ分を反映させることで11.2%増収(従来予想5.1%増収)、18.8%営業増益(同12.5%増益)に上方修正している。下期にかけてはロックダウンに係る一過性コストのはく落に加えて、自動車生産の回復も進む可能性が高く、修正後の通期業績計画の上振れ確度は高いものと思われる。来期についても、自動車向けの成長加速、家電・商業・産業用の収益性改善によって、業績拡大の継続を想定する。

中長期的には電気自動車市場の拡大が当社の業績拡大をけん引するものと想定している。電気自動車の駆動に使われるモータや、同モータにインバータやギアを一体化したE-Axleの新規採用が加速している。本来、23年に量産開始を予定していた新型E-Axleは、中国大手自動車メーカーが開発する高性能EVに採用が決まったことで、計画を前倒しして8月から量産を開始した。電気自動車市場の拡大に伴い各種自動車部品は油圧から電動への切り替えが進み、電動ブレーキ用モータなどのE-Axle以外の車載用電動製品も一段と成長に弾みが付くことが期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願ひ致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(11/18)	コメント
日本板硝子 (5202) 東証1部 563円	22年3月期2Q累計(4-9月)決算は自動車用ガラス事業の不調を建築用ガラス事業、高機能ガラス(ディスプレイ用超薄板ガラス、プリンター用レンズなど)事業の好調がカバーし前年同期比31.2%増収、原燃料高騰の影響も値上げ、コスト削減で吸収し営業利益は3.9倍となり、前回上方修正した上期計画を上振れ着地となった。下期は原燃料価格、自動車用ガラス事業の見通しが不透明なため据え置いた。欧州でガラスが供給不足状態となっており、コスト上昇分を価格転嫁しやすい環境となっていると説明した。(志田 憲太郎)
リンナイ (5947) 東証1部 12,030円	22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比20.7%増収、55.2%営業増益。原材料高の影響を受けたが、原価低減効果に加えて、タンクレス給湯器への代替が進む米国、高いブランド力を背景に拡販の続く中国が好調に推移したうえ、日本市場も堅調に推移し、過去最高の売上高、営業利益となった。下期は原材料高の一段の進展、部材調達難、物流の混乱などのリスク要因があることを踏まえて、通期では6.0%増収、0.8%営業増益計画を据え置き。(多功 毅)
メドピア (6095) 東証1部 3,835円	医師向けコミュニティサイト、転職支援などのドクタープラットフォーム事業は製薬企業のDX推進により受注拡大、医師会員基盤も14万人(日本医師数は18年で約32.7万人)に拡大。ヘルスケアソリューション事業はクラウド型健康管理サービスの契約者数が堅調に増加し、保健指導サービスではオンライン面談が拡大した。売上、利益ともに通期過去最高を更新した。22年9月期通期計画は、収益認識に関する会計基準の適用のため、変化率は開示がなく単純比較では前年同期比41.2%増収、40.2%営業増益、36.9%最終増益。(志田 憲太郎)
ミネベア ミツミ (6479) 東証1部 3,170円	22年3月期2Q(7-9月)決算は前年同期比2.8%増収、42.8%営業増益、1Q比では13.6%増収、27.4%営業増益。売上、営業利益とも2Qとして過去最高。機械加工品事業及び電子機器事業のモータ及びユーズン事業が自動車減産の影響を受けたが、アナログ半導体などが好調なミツミ事業がカバーし、ほぼ計画線の営業利益での着地。機械加工品事業、ミツミ事業の利益見通しを増額、通期営業利益を75.9%増益計画(従来予想70.0%営業増益)に上方修正。(多功 毅)
ニコン (7731) 東証1部 1,194円	22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比55.5%増収、営業損益は黒字に転換。カメラや露光装置、EUV関連コンポーネントなど主要製品が好調に推移し通期計画を上方修正。カメラはミラーレス新製品の「Z fc」が若年層、女性ユーザーに好評。11月からフラッグシップモデルの「Z 9」の予約を開始。半導体向け露光装置は、中古装置の販売が伸び販売台数計画を上方修正。EUV関連コンポーネントは顧客の製品販売増に伴い、今後も売上拡大が期待される。(松本 直志)
ブティックス (9272) 東証マザーズ 3,000円	22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比で売上高は2.8倍、営業損益は99百万円の赤字から237百万円の黒字に転換。介護業界向け展示会事業は新型コロナの感染拡大による緊急事態宣言の発出により、新規営業が出来ず苦戦したが、介護業界向けM&A仲介事業が好調に推移し、通期計画を上方修正。採用を強化している新人M&Aコンサルタントの本格業績貢献や新型コロナの鎮静化による展示会事業の回復により、来期に向けて業績の拡大が期待される。(松本 直志)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室